

■第5回協議会のグループ別協議の整理

議題：統一感のあるまちなみ景観の形成について

※任意の2つのグループ編成から、各委員意見を模造紙に集約し、協議から見出しをつけ整理しています。

■Aグループ

■建物の高さ

- 駅の周りは比較的高くその他は低く抑えるなど地区にメリハリをつける
- 北側と南側で高さのルールを分けてはどうか

■壁面の位置

- 駅周りは後退が必要（駅前1階部分を1m程度後退させる）

■色彩・デザイン

- 賑わいを妨げないよう駅周りの色彩の規制は慎重にする

■塀・垣・柵

- 防災に配慮し、ブロック塀はできるだけ抑える

■その他

- 風の道の確保！ やわらかい印象の素材を使用する
- 沿道のみではなく裏道側へも配慮する（裏道からバックヤードへのアクセス、垣・さくの配慮）
- にぎわいを創る工夫が必要
 - ・にぎわいをどう求めるか →小布施スタイルを武蔵村山で創れるか・
 - ・沿道はにぎわいが必要！ →制限・規制は慎重にする
 - ・都市核・サブ核は工夫が必要（都市核と駅を結ぶにぎわいの道、都市核への広場を確保）
 - ・モノレール駅周辺に仕掛け・にぎわいの広場（祭りの広場）等を創る
 - ・駅周辺のにぎわいを創出する歩道舗装・デザインの工夫
 - ・狭山丘陵は全体的にモノトーン
 - ・自転車まちづくり（レンタサイクル）



■Bグループ

■共通事項

- 拡幅を契機に、これから創るまち・良好なまちなみを形成したい→まちなみはある程度統一する
- 道路拡幅を前提とし、整備を早く進めることに重点をおく（地権者の負担等も配慮）
- 規制・制限のやりすぎは地権者の負担となる→配慮する

■建物の高さ

- 核となる場とその他のメリハリをつける
 - ・にぎわいの核となる駅周辺はある程度高くする（現在よりもう少し高くしてにぎわいを創出する）
 - ・その他は高さを揃える（富士山や丘陵地の緑等の良好な眺望を妨げない）
- 沿道裏手の住宅地に配慮する（南側、北側斜線制限）

■壁面の位置

- 壁面後退は統一する（全体的に都市核と合わせて1.5m程度。後退したところは緑化する）
- まちなみのルールをつくる（民地等の緑化の維持管理）

■色彩・デザイン

- 突出した色彩は使用しない、原色は使用しない
- にぎわい空間（都市核）と住まい空間とのメリハリをつける
 - 武蔵村山を認識するような特徴

■塀・垣・柵

- ブロック等は低く抑え、上部はフェンスや緑化を図る
- 市の生け垣助成等の周知を図る

■その他

- まちの出入り口・ゲートを演出する（村山団地等）
 - ・武蔵村山をアピールする →ゲートから良好な沿道まちなみへ誘導する

